

## 「瞑想と科学」

高野山大学 図書館長 前谷 彰 (恵紹)

瞑想者は科学者であり、科学者は瞑想者である。湯川秀樹博士は、原子核内の陽子と中性子を互いに結合させる相互作用の媒介となる中間子の存在を理論的に予言したことによって、日本で最初のノーベル物理学賞を受賞したことでよく知られている。しかし、博士がこの中間子の存在を予言したのは、21日間の断食の末に見た夢の世界がもとになっていることはあまり知られていない。また、量子トンネル効果（トンネルダイオード）理論によってノーベル物理学賞を受賞した江崎玲於奈博士も、その理論を発見したのは湯川博士と同様に21日間の断食を終えた早朝のことであった。

「瞑想者は科学者であり、科学者は瞑想者である」というのは、この二人のノーベル賞受賞者がそれぞれの理論を発見した時、21日間の断食という、精神的にも肉体的に極限状態にあったことは確かだ、精神は日常性を離れ、一種の瞑想状態にあったと言っても過言ではないであろう。アインシュタインも最晩年は、散歩の途中で一羽の蝶に遭遇したら、それを神と思い、どこまでも追いかけて行ったというストーリーが残されている。これまで、科学と宗教はある意味で二項対立的に捉えられ、両者を対比したりその接点を探る操作が行われて来たが、実際には不可離の関係にあるというのが、発表者の長年培って来た考え方である。つまり、キリスト教であれ、仏教であれ、宗教のそれぞれの体系は、科学が様々な実験や推論を重ねて辿りつく最終点を、瞑想や日常性を離れた修行や体験によって完了していたと言っても過言ではないのである。



現代の最先端科学が導き出してきた様々な理論や仮説は、すでに数千年も前に存在した瞑想者たちによって発見された宗教的体系に酷似している場合がある。そこで今回は、インドのバラモン教の思想体系や仏教（密教）の思想体系の中に、科学的（特に量子力学の領域）理論・仮説との一致点を探す作業を通して、瞑想と科学との深い相互関係を探って行くことにする。

(続く)



2018年 7月開館予定表						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2018年 8月開館予定表						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

	9:00-20:00		9:00-17:00
	休館日		13:00-20:00
	13:00-19:00		9:00-19:00

太宰治の誕生日でもあり、忌日でもある6月19日。この日は「櫻桃忌」とよばれ毎年、彼の墓所である禅林寺で法要が行われます。

今年には太宰治没後70年にあたる年です。図書館に所蔵している太宰治に関する図書の一部を開架しています。ぜひ手に取ってみてください。



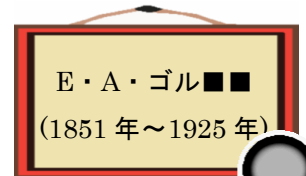
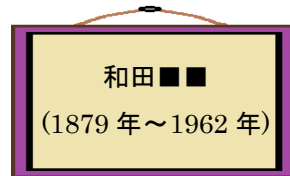
## 高野山大学図書館所蔵 肖像画

図書館閲覧室の展示コーナーにて所蔵している肖像画を3点展示しています。

誰の肖像画を展示しているのか、ぜひ図書館でご覧になってください。

肖像画の方々は高野山大学と深い関わりのある人物です。この人達に関する図書もぜひ合わせてご覧ください

(ヒント)



書名	著者	請求記号	資料ID
高岡■■■和尚 中院流伝授記録	高岡■■■著 中院流伝授記念会編	480/タ/8	891004806
和田■■■講話集	草繫全弘等編	456/ワ/3	000112244
弘法大師と景教	E.A. ゴル■■■著 高楠順次郎訳	406-2/コ/34	871002295

**発行所**  
〒648-0280  
和歌山県伊都郡高野町  
高野山 385  
高野山大学 図書館閲覧室

TEL : 0736-56-3835  
FAX : 0736-56-5590

E-mail  
service-lib@koyasan-u.ac.jp  
twitter : @koyasanlib



## 長期貸出のお知らせ

7月23日(月)より、図書の夏期長期貸出を開始します。長期貸出の返却日は9月28日(金)です。

※本学学生対象です。(通信生と学外者は対象外です。)